



ふくしま教育ニュース

2020年11月 第55号 編集・発行 福島県教育委員会

探究学習が「シンカ(深化・進化)」しています! ～ふくしま創生人財育成事業～

学校と地域が連携することで、高校生の日々の学びを現実の課題と結びつけ、
地域の一員としての当事者意識を育む取組を実践しています。
今年度、会津地区の県立高等学校2校に、「地域コーディネーター」を配置しました。

取組1 「地域コーディネーター」の配置

葵高等学校

学校と地域をつなぐ視点で「葵ゼミ」の探究学習をサポートしています。出前講座や施設訪問など、学校と地域の資源(ヒト、モノ、コト)をつなぎ、個々の生徒のニーズにも対応しています。



※葵高校は、三菱みらい育成財団助成対象校にも指定されています。

喜多方高等学校

喜多方高校の「総合的な探究の時間」をより充実させるプログラムづくりを教職員とともに進め、喜多方市役所や協力企業等との連絡・調整に加え、新たな連携先も開拓しています。



県立高校の 地域コーディネーター とは

県立高校の「地域コーディネーター」は、各校のニーズと地域のニーズを把握し、交渉や助言、調整などを行い、「地域人材ネットワークバンク」を構築して、探究学習の深化を後押しします。

取組2 ふくしま創生サミット

対象…全ての県立高等学校の代表生徒
開催方法…10～11月に県内6会場(地区別)で開催しました。
内容…各校における地域課題探究学習の成果を発表し合い、地域を活性化させるために意見を出し合って、地区ごとの「宣言」を採択しました。



取組3 ふくしま高校生社会貢献活動コンテスト

対象…福島県内に在学する高校生等が主体となっているグループまたは個人
開催方法…11月に予選(書類審査)を行い、12月19日(土)に本選(プレゼンテーション形式のコンテスト)をコラボせふくしま(福島市)で開催する予定です。
内容…まちおこし、伝統文化の継承、高齢者との交流、地元の野菜を活用した製品開発など、「地域や社会を良くしようとする活動」についてのコンテストです。

第7次福島県総合教育計画の策定を進めています

福島県教育委員会では、今年度終期を迎える福島県総合教育計画について、新たな教育計画の策定に向けて、有識者を委員とする策定懇談会を開催し、検討を進めています。

この計画は、本県教育の未来にとって重要なものであり、グローバル化、情報化や技術革新、少子高齢化に加え、新型コロナウイルス感染症など社会の複雑な変化にも対応しつつ、震災や原発事故からの復興・創生等を踏まえ、子どもたちが、こうした社会の困難な問題の解決に取り組みながら未来を切り拓いていけるような、「ふくしまならではの」なものにしたいと考えています。

また、今年度は県政世論調査、高校生ワークショップ、来年度は教育公聴会を開催するなど、県民の方々からの幅広い意見を計画策定に反映させてまいります。



第3回策定懇談会(令和2年10月)

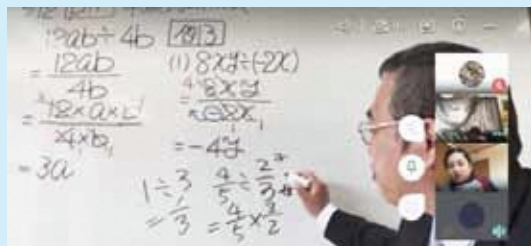
ICTを活用した取組事例をご紹介します

臨時休業中や夏季休業中に実施した「カツテレ」 葛尾村立葛尾中学校

「カツテレ」とは、葛尾中学校で臨時休業中や夏季休業中に実施した同時双方向オンライン授業のことです。この名称は、臨時休業が始まる直前の3月初めに生徒から募集し、生徒が考えたイメージキャラクターの「カット君」と「テレビ授業」を合わせて「カツテレ」になりました。午前に健康観察と教科授業、午後に体力作りと探究活動、最後に1日の振り返りという日程で取り組みました。

「カツテレ」では、Wi-Fiなどのネットワーク環境、職員・生徒1人1台の端末などのハードウェア、職員・生徒のFCSアカウントを用いたクラウド環境、この3つが重要な要素となっています。

Googleドライブの活用により、学習の成果や臨時休業時の情報を教職員間、または、教職員と生徒で共有することができました。



「カツテレ」を活用した授業の様子

ICTを活用し、少人数で実施する授業 田村市立大越小学校

大越小学校では、三密を避ける対策として、隣り合う2つの教室に児童を分散させて授業を進めることができるよう、臨時休業中にICT環境を整えました。環境が変わることで生じる児童の戸惑いを想定し、2つの教室に分散していても一体感のある授業ができるよう工夫をしました。

学校再開後、児童は、三密を避けながら安心して授業に臨むことができました。「新しい生活様式」を取り入れた取組につ



ICTを活用しながら、2つの教室で同時に授業を行っている様子

いては、学校便りやwebサイトを活用して発信し、保護者や地域の方々の理解と協力を得ています。

その他の取組については、義務教育課のホームページ

「[ふくしまの学校“キラリ”](https://www.pref.fukushima.lg.jp/site/edu/manabinohosyou.html)「[学びの保障](https://www.pref.fukushima.lg.jp/site/edu/manabinohosyou.html)」[応援サイト](https://www.pref.fukushima.lg.jp/site/edu/manabinohosyou.html)」で紹介していますので是非ご覧ください。

<https://www.pref.fukushima.lg.jp/site/edu/manabinohosyou.html>



「ふくしま外国語教育推進リーダー」が 小学校英語の未来を切り拓きます

ふくしま外国語教育推進リーダー(以下、「推進リーダー」)は、複数の小学校で英語のみを専門的に指導するとともに、その優れた指導方法や事例を県内の小学校教員に広く普及させる役割を担っています。推進リーダーの制度が導入されて3年目の今年度は、新たに任命された7名を含め、過去最多となる20名の推進リーダーが活躍しています。

また今年度は、推進リーダーが参加するオンライン協議会を毎月開催し、評価の在り方や臨時休業後の学びの保障について協議したり、高学年で使用する教科書の取扱等についての情報交換をしたりすることで、研修を深めています。

今後も、効果的な指導方法の普及に努めるとともに、質の高い授業を提供してまいります。



オンライン協議会の様子

「ふくしま高校生リーダー育成プロジェクト」アドバンスセミナー
高校生向けのオンライン学習を開催中です！
 (県教育委員会主催の学習会)

この学習会は、YouTubeでの限定公開(無料)とし、各県立高等学校を通して希望する生徒にURLを公表しています。動画と連動した事前配付資料(テキスト)についても、各校から受講希望者に配付することとしていますので、希望する生徒は、在籍する高校に相談してください。

なお、国語・数学・英語は、大学進学対策の内容です。

公開期間 令和3年1月31日(日)まで

公開対象 県立高等学校の2学年又は3学年に在籍する生徒。



教科等	進路講話	国語	数学	英語
内容	医学・医療系進学 希望者への助言	論理的な文章 文学的な文章	式と証明 三角関数	英作文 自由英作文
講師	 大谷 晃司氏 (福島県立医科大学医療人育成・支援センター長)	 藤井 健志氏 (代々木ゼミナール講師)	 数理哲人氏 (プリバス講師)	 木村 達哉氏 (灘高等学校教諭)

第8回

特別支援学校作業技能大会
 ～夢に向かってテクノチャレンジ2020～

8月5日、郡山市のビッグパレットふくしまにおいて、県立特別支援学校16校が一堂に会して、「第8回特別支援学校作業技能大会」を実施しました。本大会は、「生徒たちの学習への意欲付けや自信につながり、生徒たちの自立と社会参加、進路実現に向けて重要な大会である」という認識のもと、新型コロナウイルス感染拡大防止に最大限配慮し、実施方法を工夫して開催しました。

約90名の生徒が、ご家族、企業関係者、福祉関係者等の前で学習の成果を披露することができました。どの生徒も、自信をもって取り組んでいたのが印象的でした。



店舗販売部門の様子



パソコンデータ入力部門の様子

十七字でつむぐ復興などへの想い
 ふくしまを十七字で奏でよう 絆ふれあい支援事業
 初のワークショップ開催!

体験や日頃感じていること、復興への想いなどを共有し、ペアでそれぞれが5・7・5の十七字で表すのが、「ふくしまを十七字で奏でよう絆ふれあい支援事業」です。今年度は、初めてワークショップを開催し、講演会及び作品づくりを行いました。

8月1日は福島市で高校生を対象に開催し、北海道の私立札幌新陽高等学校、福島県立ふたば未来学園高等学校と会場をリモートで結び、活発に意見交換をしました。8月12日には富岡町で小中学生とその保護者を対象に開催し、親と子とがじっくり語り合い、十七字に想いを込めました。



ワークショップの様子



震災当時は小学1年生で、記憶のある最後の学年と言われているのですが、年下の子たちは記憶がなくても福島のことを聞かれたとき何も答えられない状況を作ってはいけないので、ちゃんと伝えていかなければならないと思って作品をつくりました。

新たな絆が生まれ、復興への想いを強くもつことにつながるワークショップとなりました。

*今年度ご応募いただいた十七字の作品の中から、一部の作品を12月上旬に社会教育課のホームページ等で公表する予定です。

(今年度の作品募集は、8月31日で締め切りました。)

[福島県](#) [十七字](#) [検索](#)

令和3年度 県立高等学校入学者選抜について

令和3年度高校入試の前期選抜(特色選抜、一般選抜)と連携型選抜を3月上旬に、また後期選抜を3月下旬にそれぞれ実施します。

(1) 前期選抜(特色選抜、一般選抜)・連携型選抜

出願書類提出	令和3年2月 4日(木)～2月 9日(火)
出願先変更	同 2月10日(水)～2月15日(月)
学力検査	同 3月 3日(水)
面接等	同 3月 3日(水)～3月 5日(金)
追検査等	同 3月10日(水)～3月11日(木)
合格発表	同 3月15日(月)

(2) 後期選抜

出願書類提出	令和3年3月16日(火)～3月17日(水)
出願先変更	同 3月18日(木)
面接等	同 3月22日(月)
合格発表	同 3月23日(火)

福島県 令和3年度高校入試

検索

※新型コロナウイルス感染症に係る学力検査等の対応について、福島県教育委員会のホームページに掲載しています。

地域のスタッフが学校のために力を発揮!

今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止や教員の多忙化解消のために、県内全ての市町村立学校及び県立学校へ、スクール・サポート・スタッフの配置を進めています。

スクール・サポート・スタッフが、学年だよりや授業等で使用する学習プリントの印刷・整理、教室や廊下の掲示物作成などの教員の業務を補助することで、教員が子どもと向き合ったり、授業の準備をしたりする時間を確保できるようにしています。更に、トイレやドアノブ、教室の机、いすなどの消毒作業も担当し、安全・安心な学校環境を整え、子どもたちが生き生きと学習に取り組めるようにしています。

印刷などはなるべく早く行い、先生方の負担が軽減されるよう心掛けています。



スクール・サポート・スタッフの声

教員の声



私たちの事務作業が軽減し、子どもと向き合う時間が増えました。消毒作業も欠かさず行っていただき、安全・安心な学校生活を支えていただき、とても感謝しています。



教室の照明スイッチの消毒作業の様子

相談窓口のお知らせ

いじめ、不登校、体罰などの様々なお悩みに対する相談窓口を開設しています。一人で悩まず、お電話ください。悩みを抱えているお子さんや保護者の方が対象です。

〈いじめ問題や不登校、体罰などの教育相談電話〉月～金 10:00～17:00

「ダイヤルSOS」

0120-453-141

〈子どものための24時間電話相談〉24時間いつでも電話できます。

「ふくしま24時間子どもSOS」

0120-916-024

※県教育委員会ではHP等の掲載広告を募集しています。詳しくは 福島県教育委員会 広告

検索

ここから下の段は広告です。掲載の広告は県教育委員会の事業とは関係ありません。

動画でご覧ください

日本全国で
2,100万件超が
加入する理由 公開中!

*すべての共済事業の合計(令和2年8月末現在)



ホームページでもご覧いただけます。

スマホで見えてね!

●充実の保障ラインナップ

こども型

総合保障型

入院保障型

熟年型

熟年入院型

新型火災共済

思いやりの心から生まれた保障

県民共済

お問い合わせと資料のご請求は

共済取組団体 福島県民共済生活協同組合
〒960-8031 福島市栄町6-6 NBFユニクスビル9F

☎ 0120-282-869

☎ 024(524)1400

【受付時間】平日 9:00～17:00

福島県民共済

検索

共済元受団体/厚生労働省認可 全国生活協同組合連合会

リサイクル適性

この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

広報誌へのご意見をお寄せください
✉ k.kouhou@pref.fukushima.lg.jp